

「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター



おまかせください！！

2016. 第 93 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

ゴールデンウィーク(GW)も終わってしまいましたね。今年(GW)は、比較的天気が良かったような気がします。でも、風が強い日もありましたね。5月3日でしたでしょうか？

今年、当店はGWにお休みを頂きましたので、その日は現場作業ではなかったのですが、風の様子から、現場の様子を見に行きました。けれど、何事も無かったのでホッとしましたけれど……。良かったです。

こういう時に、現場が府中市内だと良いですね。近いので様子をすぐに見に行けますから……。

今年(GW)は、5月2日の大腸内視鏡検査のおかげで体力を消耗したこともあり(何だかんだと……結局朝から夜まで病院で……)、以降3日からは、ゆっくりカラ

ダを休めることが出来ました。

家族はそれぞれの用事がありましたので、ぼく一人の時間が多く、だからこそゆっくり出来ましたね。

いつもより少し遅く起きて……。というのが通じてありませんでした……。比較的ゆっくりな起床時間で……。

いつもの三商事の一日というのはこんな感じです……。

朝は5時に起床です。もう少し早く4時半位の時も……。お天気を見るためです。

いまではこの時間、もう明るいですが、冬は真っ暗で、雨こそ降っていればわかりますが、それ以外はわかりませんね。

もうひとつ早く起きる目的は、ブログを書いたり、このニュースレターを書いたり……。といった事です。仕事が終わった夜は子供たちも居たりして、なかなかそういう時間がとれないんです。

この早朝の時間帯は、みんなまだ寝ていますし、一人の時間なのでここでやった方がはかどります。

1時間から1時間半ほど、そういう時間があって6時になったら動き出します。まずは薬を飲んだり、体温を測ったり……

と病院から言われていることをしつつ、事務所の鍵を開けに行きます。

今はもう付けませんが、暖房もON。スタッフみんな寒い中仕事に来ますからね。これから冷房をONになってきます。

そして朝食の支度です。ちなみにこれはぼくの方だけです。朝はみんな食べるものや時間が違いますからね・・・。

もし、ここで雨が降っていた場合などはスタッフに中止のメールを送ります。たまに待っていればやみそうな時は様子を見ますが、完全にアウトな時はこの時点で工事の有無を決定します。

それから6時半くらいから朝食をとります。結構ゆっくりと食べます。早くなってしまいがちな食べるペースをわざとゆっくりにしていますね。だから早めに朝食もスタートしないとイケません。

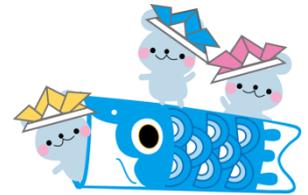
そして、それが済むころ、ようやく家族が起きてきます。もし、その日の塗装が中止なら、この7時位にお客様にご連絡をします。さっきの6時位ですと、いくらなんでも早すぎるのではないかと・・・と思って、ずらしてのご連絡です。

それからは自分の身支度です。着替えて、歯を磨いて・・・そして7時半ころ事務所に行きます。みんなもその時間あたりからぽつぽつと到着します。

みんなが顔を合わせると、昨日の進行状況や今日の段取りを話したりして、少々会議（朝礼とか、会議なんておこがましいものではないですが・・・）。そして塗料などを積み込んで段取りをして、7時45分～8時ころの間に出発します。

そして大体10～15分位で現場に到着。お客様ご挨拶をし、作業開始となります。

この通常の流れがゴールデンウィークはありませんでしたので、本当にのんびりさせていただきました。カラダが休まりましたね・・・。



お世話になっております。

長坂利昭です。

今号もお読み頂きありがとうございます。

■熊本で・・・

皆様もご存じの通り、去る4月14日夜、“熊本地震”が発生しました。

この地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々が一日でも早く、落ち着いた生活を取り戻せるよう願っております。

地震発生時、時間も時間でしたから、私は稲城の自宅にいました。

妻と共に、子供たちの寝る支度を手伝っている最中、21時ちょっと前でしたでしょうか・・・東京でも小さな地震があり、震度が気になりテレビを付けました。

そのままテレビを付けた状態で、再び子

供たちの世話を続けていると、30分も経たずに緊急地震速報の字幕と音が・・・。

その後も絶える事ない地震速報。そして16日深夜1時25分には、のちに“本震”と言われるようになった、更に強い揺れが。

私は、東日本大震災の震度5弱までしか経験していませんが、あの揺れが、あれ以上の揺れが何度も続いているんですから、心身ともに落ち着かないでしょうね・・・。

それと、我が家にも子供がいるので思うのですが、あの揺れを経験してしまった子供たちの“心の傷”が心配です。

■私に出来ること・・・

東日本大震災の時には、その年の夏、妻の実家（北海道室蘭）に家族で帰省した際、私一人、一足先に東京へ戻り、一泊二日で宮城県のボランティアに参加しようと計画をしていました。

ところが、帰省2日目に妻が急性肝炎になり、入院一歩手前の妻とママっ子の長女を室蘭に置いて一人帰る訳にもいかず・・・予定より長い夏休みをいただく事になってしまい、当然、ボランティアの参加もやむなく断念しました。

そんな事もあり、今回こそは・・・と思っているのですが、我が家には次女も増え、場所も東北より遠方となる熊本地方。

三商事での職務もある訳ですから、「ちょっと熊本まで行ってきます」とは、簡単には言えず・・・何とも歯痒い気持ちでいっぱいです。

あの時と同じように、今は東京で自分の与えられた仕事を全うしなさいという事な

のでしょうか・・・。

「数年後には、岩手・宮城・福島・茨城へ旅行に行って、微力ながら復興の手助け、地元の方々の生活の糧にならせてもらおう」と思い続けて、先日5年が過ぎたのですが、まだ一つも果たせていないのに、残念ながら、熊本が加わってしまいました。

城好きな私としては、被害を受ける前の熊本城を一目見たかったのですが、それももう叶いません。

しかし、“必ず”“見事に”再建されるであろう熊本城を楽しみにして、私に大した事は出来ませんが、未永い支援をしていこうと誓う今日この頃です。

■東京でも・・・

今回の熊本地震。私は専門家ではないので、各報道の受け売りとなりますが・・・地震発生の原因は、断層のずれによるものだそうです。

皆様もご存知かと思いますが、この地震の発生源ともなりうる断層は決して珍しい物ではなく、関東地方でも多くの断層の存在が確認されています。

東京多摩地域に住む私たちにとって一番気になるのは「立川断層帯」の存在。「立川断層帯」とは埼玉県入間郡名栗村から東京都青梅市、立川市、府中市にかけて分布する断層の事です。

昨年、ある研究機関の新たな調査・研究で立川市、更に府中市までは続いていないとの発表もあったようですが、断層の調査・研究は、今なお、進歩の段階にあり、素人考えではありますが、「100%ない」

と言い切るのは、どうなのかなと思います。

熊本地震でも、盛んに「余震に注意！」とアナウンスはされていましたが、最初に起きた“前震”相当の揺れが来るとの発表は、私の知る限りされていませんでした。

その後の気象庁の会見からも分かるように、地震の仕組み・予知というのは、まだまだ「経験値」が足りない物らしく、的確なアナウンスが難しいようです。

まあ、それはそうですよね……。年に数cm・数mmしか動かない物を観測・調査しているにも関わらず、その期間と言えば、近代に入ってから100年程度。何十億年の地球の歴史、大地の変動から考えれば、「まばたき」にも足りない様な僅かな時間しか見ていないのですからね……。

地震のみならず、「前例のない」「過去に経験をしたことがない」自然災害が起きないようにと祈るばかりです。

■三商事に出来ること……

さて、ここまで地震について書かせていただきましたが、最後に、今「塗装店は……」「三商事は……」何が出来るか？を考えてみました……。が、正直なところ……。情けない話し……。大した事は出来ません。

「外壁塗装業」は、そもそも、きちんと問題なく建っている家屋があって成り立つ仕事。外壁や屋根など、元の素材が原形をほぼ残した状態でなければ、塗装の範疇を超えてしまいます。

外壁のひび割れを発生しにくくさせる塗料を使って塗装をすることもあります、それはあくまで、外壁表面に現れるヘア-

クラックと呼ばれる細かいひび割れ程度のこと。

映像で見た、外壁が剥がれ・崩れ落ちた、数cm幅の亀裂が入ったような全壊・半壊の家屋に、塗装店が出向いたところで出来ることは片付け程度。塗料や刷毛は何の役にも立ちません。被災地でお店を構えている塗装専門業者さんは、非常に辛い立場だと思います。

「これから起きるであろう地震に備えて」「地震が起きたから」という点からすれば、塗装店の出る幕は、ほぼ無いのです……。悔しいですが……。

ですから、東京の府中市で仕事をさせて頂いている三商事は、「被災地に行って……」と言うよりは、今まで通り、府中市や近隣地域のお客様からお仕事をいただき、そのお客様にご満足をいただくことが最優先、使命なのではないかと考えております。

おかげ様で、当店は、多くのお客様からお仕事をいただいております。被災地の塗装業者さんからしてみれば、羨ましいことだと思います。本当にありがたいお話です。

「いつ?」「どういった形で?」と明言は出来ませんが、当店の仕事がいつか被災地のためになる、想いは届くと信じ、今後も一軒一軒、丁寧に塗装をさせていただきます。

~~~~~

発行者 上神谷裕治 (かみかべやゆうじ)

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

(ただいまリニューアル作業中)

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

